

全国で 宇都宮市内初上陸！
大評判！ さわやか福祉財団の
『助け合いニーズ見える化チャート』
『目指す地域ビジョン・ワークショップ』

4月/16日 日

会場 清原地区市民センター 大ホール

宇都宮市清原工業団地15-4

時間 午後1時30～4時 定員

150名

申込み 地域包括支援センター清原
028-667-8222

9時から18時（日曜除く）

講師 長瀬 純治さん

公益財団法人さわやか福祉財団

入場
無料

宇都宮市でも始まった介護保険の『総合事業』
“地域住民で支え合う仕組みづくり、”が盛り込まれています。

そこで、「本当にたのしかった！」と全国で話題の
さわやか福祉財団『見える化チャート』を使って、
みんなでたのしく、
支え合う地域づくりワークを体験してみませんか？



◆主催：清原地区社会福祉協議会・清原地区自治会連合会

◆共催：清原地区民生委員児童委員協議会

清原地区福祉協力員連絡会

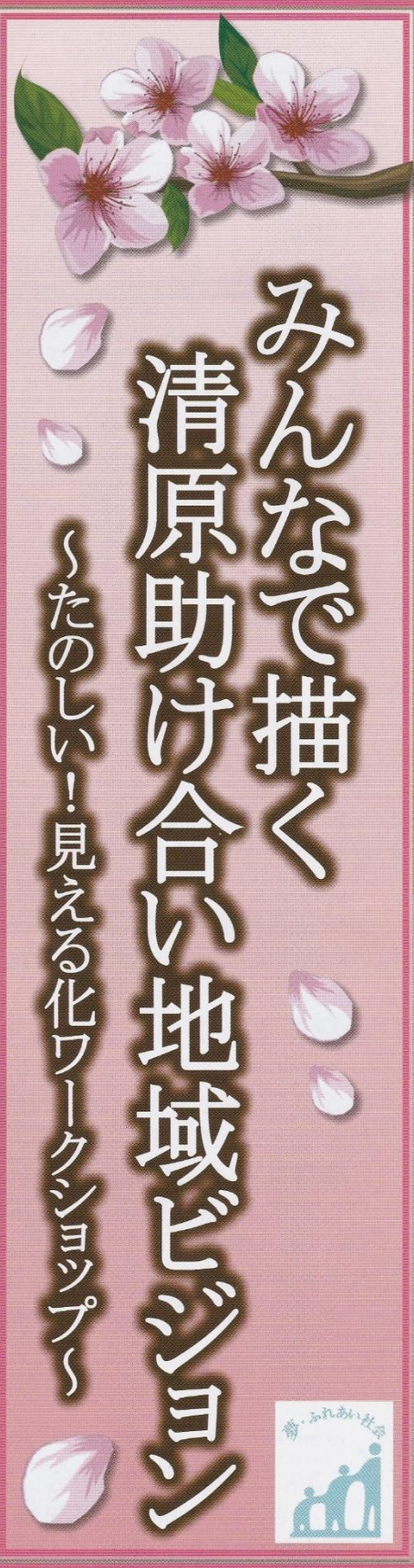
清原地区老人クラブ連絡協議会

公益財団法人さわやか福祉財団 地域包括支援センター清原

◆後援：宇都宮市 宇都宮市社会福祉協議会 下野新聞社 朝日新聞宇都宮総局

読売新聞社宇都宮支局 毎日新聞宇都宮支局 産経新聞宇都宮支局 真岡新聞

お茶と
お菓子
付き☑





買い物のこと、交通手段のこと、介護や認知症のこと、向こう三軒両隣・・・
日頃から感じている助け合いのニーズや課題を将来に向けて見える化！

みんなで一緒に“これからの地域のこと”を考えませんか？

●これまでの会の歩み

2016年5月、清原地区自治会連合会、地区社協、地区市民センター、老人クラブ連合会、宇都宮市社協、包括支援センター清原、そして有志が集まり『2025年の清原地区の福祉のまちづくり』をテーマに話し合いがスタートしました。9月には第1弾として木原孝久さん(住民流福祉総合研究所所長)を講師に『住民流助け合いのまちづくり』というテーマで講演会を実施しました。この会を起点に100名を超える方々と共にキックオフされました。その後も勉強会を続けようとの声があり10月から12月まで連続5回の講演会・勉強会が行われました。毎回40名近くの方々が集まり、12月10日の最終回では「清原地域に必要なものは何か」というテーマでワークショップ形式の話し合いをしました。この講演会は、2017年現在も毎月一回行われています。

●ビジョンづくりのスタート(4月16日)

清原地区の福祉のまちづくりビジョンを考えるために、2016年12月から2017年1月にかけて、19自治会からなる各自治会長の皆さまにニーズアンケート調査を行いました。

これらをまとめ、さらに必要なデータを集めたうえで、4月16日(今回の企画)さわやか福祉財団の長瀬純治さん(公益財団法人さわやか福祉財団)をファシリテーターに招き、助け合いとニーズの『見える化チャート』を企画することとなりました。

●見える化チャートのねらい

さわやか福祉財団は、これまでも全国的に住民主体で行う福祉のまちづくりを応援してきました。来る超・超高齢社会では、介護保険制度には限界があり、住民同士の助け合いや支え合いなどの活動が必要となってきます。住民、市民、ボランティア団体、NPOなどと自治体との協力、協働のもとに地域づくりのための団体や制度を作り上げていく必要があるといわれています。

そうした準備の第一歩が、清原地区の暮らしと福祉のニーズを知り、これから何が必要か、そしてそれをどう用意するかなど、ざっくばらんに話し合える今回の企画です。課題を整理して将来のあるべき姿やビジョンを描いてみることになります。

今回の『見える化チャート』は、そんなきっかけとなると期待しています。ぜひ！おいでください。

『みんなで描く 清原助け合い地域ビジョン』

と き: 4月16日(日)午後1時30～4時

ところ: 清原地区市民センター 大ホール

お申込: お電話で地域包括支援センター清原

028-667-8222 まで

定 員: 150名

参加費: 無料

お問合せ: 028-667-8222(AM9～PM6)

地域包括支援センター清原まで。

ファシリテーター: 長瀬 純治さん

公益財団法人さわやか福祉財団

ふれあい推進事業 新地域支援事業担当リーダー。

「目指す地域像の実現に向けて」「気軽にゆるやかな隣近所の助け合い」「誰もが安心して暮らせるまちを目指して」など全国各地で講演多数！

「社会福祉士。成年後見制度や少子高齢問題などに取り組みながら、墨田区を中心に活動しております。」

(ご本人 facebook より)

清原地区2025年の福祉のまちづくりを考える会